



Imager HP

Honeywell

ウェアラブルバーコードリーダー 共通クイックスタートガイド

8675i / 8680i



■ 本書について

はじめに

この度は Honeywell 製バーコードスキャナをご採用いただきまして、誠にありがとうございます。本書はお客様がすぐにお使い頂ける様、各スキャナーの基本機能部分の設定を抜粋して作成しております。

さらに詳しく設定を行いたい場合には、以下のリンクよりユーザーズガイドをご参照下さい。(<https://imagers.co.jp/document>)

ご注意事項

- ・ Honeywell 社及び弊社は、本書に記載された仕様およびその他の情報を事前に断りなく変更することがあります。
- ・ 本書の技術的仕様や編集上の誤り等で発生した損害につきまして、Honeywell 社及び弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 本書には著作権で保護された情報が含まれ、著作権法の対象になります。

保証・修理に関して

・ 本書で紹介している機種は本体保証期間 2 年（バッテリー 1 年）です。
無償保証期間中は商品の無償修理及び交換をセンドバック方式にて行わせて頂きます。尚、お客様責によるダメージ、本来の使用目的外のご使用や製品仕様に沿わない不適当な使用方法に起因した故障、改造やお客様による修理を行った形跡が確認できた場合など、保証期間内であっても製品の無償保証範囲から除外させて頂く場合がありますのでご注意ください。

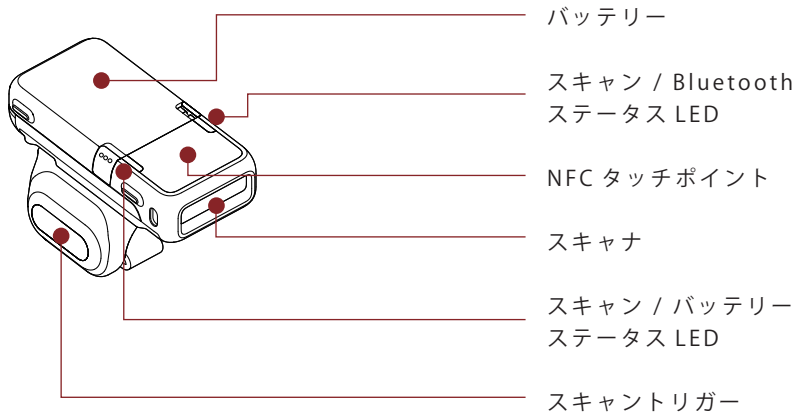
* 詳しくは販売店もしくは弊社カスタマーサービス部までお問い合わせ下さい。

■ 目次

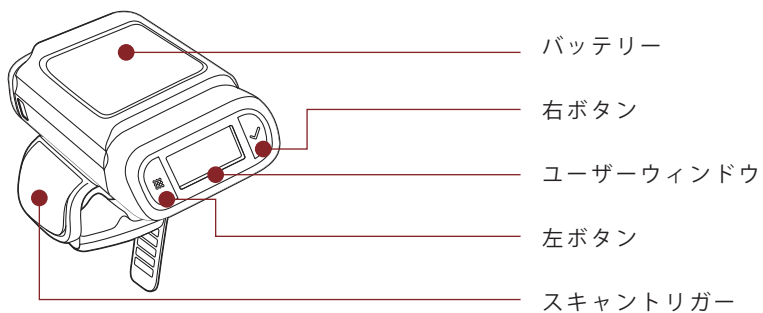
1	操作説明	03 8675i 操作説明 03 8680i 操作説明
2	ペアリング	04 Bluetooth Classic 接続 05 BLE(Bluetooth Low Energy) 接続 05 NFC モード接続 06 アクセスポイント接続
3	共通設定	07 プレフィックス設定 08 サフィックス設定 09 読取りブザー音量設定 10 バイブレーション設定 10 マルチプルシンボルモード 11 キャラクタ間ディレイ設定
4	OCR 機能のご紹介	12 Honeywell OCR 12 Solomon OCR
5	その他	13 工場出荷初期設定 13 レビジョン表示
6	サンプルバーコード	

■ 操作説明

■ 8675i



■ 8680i



■ ペアリング

ホスト端末との Bluetooth 接続を行います

ダイレクト接続

Bluetooth classic 接続

Bluetooth Classic での接続を行います



◀ HID 接続

Windows 端末と
HID ダイレクト接続を行います
CMD : PAPJKB

HID 接続 ▶

Android / iOS 端末と
HID ダイレクト接続を行います
CMD : PAPBTH



◀ SPP 接続

ホスト端末と SPP ダイレクト接続
を行います
CMD : PAPSPP;BT_DNG1.

BLE (Bluetooth Low Energy) 接続

BLE (Bluetooth Low Energy) での接続を行います

※対象機種：86801



◀ HID BLE 接続

ホスト端末と HID BLE ダイレクト
接続を行います

CMD : PAPLEH.

BLE シリアル接続 ▶

ホスト端末と BLE シリアル
ダイレクト接続を行います

CMD : PAPBLE.



NFC モード (Tap and Pair) 接続

※Android 機器限定

手順

1. ホスト端末の NFC 設定がオンになっていることを確認
2. スキャナにタッチします
3. ホスト端末がスキャナを認識するとペアリングを求めるプロンプトが表示されます
4. Bluetooth 設定で スキャナ のペアリングを確認します



アクセスポイント接続

アクセスポイント AP-100 / AP010 を介して接続をおこないます

※アクセスポイントはオプション品となります

※AP-100 / 010 は接続できる距離が異なります

AP100 | 最大 100m / AP010 | 最大 10m

手順

1. 右記の設定コードを読取ります
CMD : BT_TRM0;BT_EHM0;WIDSCN0.
2. アクセスポイントに貼付されている
12桁のペアリングコードを読取ります
3. “ピロッ” という音が鳴ったら接続完了です



■ 共通設定

8675i / 8680i 共通設定を
付加します

プレフィックス設定

データの先頭（プリフィックス）に付加する制御文字を設定します



◀ 制御文字なし

すべてのプレフィックスを削除します

CMD : PRECA2.

※デフォルト値

STX 付加 ▶

データ先頭に STX を付加します

CMD : PREBK29902.





サフィックス設定

データの末尾（サフィックス）に付加する制御文字を設定します



◀ 制御文字なし

すべてのサフィックスを削除します

CMD : SUFCA2.

※デフォルト値

ETX 付加 ▶

データ末尾に ETX を付加します

CMD : SUFBK29903.



◀ Enter (CR) 付加

データ末尾に Enter (CR)
を付加します


CMD : VSUFCR.

TAB (HT) 付加 ▶

データ末尾に TAB (HT)
を付加します

CMD : SUFBK29909.



 読取りブザー音量設定

読取り時のブザー音量を設定します



◀ ブザー音量 高

読取りブザー音量を「高」に設定します

CMD : BEPLVL3.

※デフォルト値

ブザー音量 中 ▶

読取りブザー音量を「中」に設定します

CMD : BEPLVL2.



◀ ブザー音量 低

読取りブザー音量を「低」に設定します

CMD : BEPLVL1.

読取りブザー OFF ▶

読取りブザー音量を「OFF」に設定します

CMD : BEPLVL0.



バイブレーション設定

読取り時のバイブレーションの設定をします



◀ 有効

バイブレーションを有効にします

CMD : TFBGRD1.

※8680i デフォルト値

無効 ▶

バイブレーションを無効にします

CMD : TFBGRD0.

※8675i デフォルト値



マルチプルシンボルモード

トリガーを押し続けることで複数の異なるバーコードを読取ることができます



◀ 無効

マルチプルシンボルモード
を無効にします

CMD : SHOTGN0.

※デフォルト値

有効 ▶

マルチプルシンボルモード
を有効にします

CMD : SHOTGN1.





キャラクタ間ディレイ設定

キャラクタの間にディレイを挿入してデータの送信スピードを遅くします
※データの桁落ちが発生している場合にお試しください



◀ ディレイ OFF

CMD : DLYCHR0.

※デフォルト値

ディレイ 10ms ▶

キャラクタの間に 10ms の
ディレイを挿入します

CMD : DLYCHR2.



◀ ディレイ 15ms

キャラクタの間に 15ms の
ディレイを挿入します

CMD : DLYCHR3.

ディレイ 20ms ▶

キャラクタの間に 20ms の
ディレイを挿入します

CMD : DLYCHR4.



■ OCR 機能のご紹介

英数字といくつかの記号
の読取りができます

オプションで文字を読取る OCR 機能を追加することが可能です
賞味期限、Lot No. など様々な文字の読取りができます



■ Honeywell OCR

OCR フォントのみ | OCR A / OCR B

※無償でご利用可能ですが一部の型番でライセンスが必要となります

OCR-A フォント
A B 1 2 3 4 5

OCR-B フォント
A B 1 2 3 4 5

■ Solomon OCR

OCR フォント+その他のフォント

※追加機能をインストールすることによりお読取りが可能です

OCR-B フォント
A B 1 2 3 4 5

明朝体
A B 1 2 3 4 5

ゴシック体
A B 1 2 3 4 5

特殊フォント
A B 1 2 3 4 5

導入前に貸出デモ機でのご評価を推奨させていただいております。
詳しくは代理店もしくは弊社までお気軽にお問い合わせください。

その他

読取りしたデータをどのように処理するか選択します

工場出荷初期設定

工場出荷時の設定に戻します。設定した内容が全て削除されます



レビジョン表示

お使いのスキヤナの機器情報を表示します



 サンプルバーコード



Imager

Imaging technology for your solution

株式会社 イメージャー

〒 333-0811
埼玉県川口市戸塚 2-21-34
アルトピアール 2F

TEL : 048-456-5381
FAX : 048-456-5382
<https://www.imagers.co.jp>
MAIL:infohp@imagers.co.jp